

## 第 92 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開 催 日	平成 29 年 9 月 26 日 火曜日 15:30～ 17:00
開 催 場 所	日本生命千葉富士見ビル 6 階会議室
出席者	飯田評議員、桐谷評議員、小賀野評議員、椎名評議員、鈴木評議員、高原評議員、出口評議員、松本評議員、山口評議員（五十音順）
議 題	1. 健康経営普及促進に係る取組みについて 2. ジェネリック医薬品の使用率向上に向けて

### 議 事 概 要 (主な意見等)

#### 支部長挨拶

\* 第 92 回千葉支部評議会にご出席いただきありがとうございます。今回の議題として、健康経営に関わること、ジェネリック医薬品推進に関することについてご説明させていただきます。本日の議論で、結論を出すことや評価を行うこと等はございませんが、千葉支部の保健事業推進において優先度・重要度が高い項目です。特に健康経営については、平成 27 年度第 1 期データヘルス計画より数値目標として掲げておりました 330 社の「健康な職場づくり宣言」達成の目途が立ち、いよいよ来年 4 月よりスタートする第 2 期データヘルス計画推進の基盤が整ったこととなります。下期に具体的な施策を講じていく予定としていますが、評議員の皆様からのご意見も頂戴したいと存じます。また、ジェネリック医薬品についても、重要な位置づけとしており、協会けんぽは他の保険者よりも取り組みが進んでいますが、残念ながら支部別に見た千葉支部の使用率は全国平均より一步遅れたものとなっています。ジェネリックの推進は医療費抑制の大きなポイント、またインセンティブ制度の指標にも関わっているので、千葉支部も今のポジションから抜け出したいところです。こちらにつきましても、評議員の皆様からのご意見・アドバイスを頂戴できればと思います。

さて、昨日東京市ヶ谷で支部長会議が開催されました。主な議題は、平成 29 年度上期の振り返りと下期の施策政策の再確認についてです。そこで、今期退任する小林理事長から挨拶がありましたが、平成 20 年 10 月の協会発足以降、危機的な財政難を経て国庫補助率 16.4%の実現、システム刷新や新人事制度の導入等 9 年に渡り様々な出来事があり、協会けんぽは人も組織も変わったことを振り返っていました。私は後半の 3 年しか経験していませんが、変わりつつある協会けんぽに貢献していきたいと改めて思った次第であります。本日も皆様の活発なご議論をお願いいたします。

#### 議事概要

##### 1. 健康経営普及促進に係る取組みについて

■資料 1：健康経営の普及促進に係る取組み状況等について

《主な意見・質問等》

◆503社訪問し、健康な職場づくり宣言をしたのが281社ということだが、宣言率が5~6割程度なのは少ないのではないか。宣言率9割ぐらいを期待している。《被保険者代表》

⇒おっしゃる通り、宣言率についてはもっと上昇させていく必要があることを強く感じております。訪問でお会いする方によっても違いがあり、事業主や管理者にお会いできると宣言率は比較的高いのですが、相手方の都合もあるため必ずお会いできるものではございません。また、諸事情から健康づくりに積極的に取り組めない事業所様も少なくありません。その点を考慮したうえで、更に宣言数を増やす取り組みを行っていく必要があると考えています。

◆訪問する事業所はどれくらいの規模を中心に行っているのか。《被保険者代表》

⇒協会けんぽは8割以上が10人未満の事業所様であり、殆どが中小規模でございます。千葉支部では、できるだけ多くの加入者様へご案内できるように健康保険委員の委嘱を受けている10人以上の事業所様から先に訪問させていただいているところでございます。もちろん、人数が10人未満の事業所様でも、お声かけいただければ訪問しております。第2期データヘルス計画では、宣言事業所様へのバックアップを強化する取り組みも予定しています。まずは宣言事業所330社を達成し、宣言事業所様へのフォローを図り、その経験・ノウハウを軸に宣言を行っていない事業所様へも横展開していきたいと考えています。

◆2月に商工会議所と連携し、健康経営セミナーを開催したとのことだが、私も千葉県中小企業団体中央会の役員として、理事会を通して働きかけをしていくことができるので、他にも健康づくりに関する取り組みがあれば協力していきたいと思う。《事業主代表》

◆協定がいくつか締結されているが、協定項目はそれぞれで違うのか《学識経験者》

⇒細かくは違いますが、基本的に加入者等の健康づくりに資することを目的とした内容となっています。

## 2. ジェネリック医薬品の使用率向上に向けて

■資料2：ジェネリック医薬品の使用率向上について

《主な意見・質問等》

◆千葉支部は5月のデータではジェネリック医薬品使用率が70.3%となり4月から0.2%減少している。これまでこのようなことはあったのか経過を確認したい。また、千葉支部はジェネリック医薬品使用率が70%程度だが、10%上がったなら医療費にどの程度減額が見込めるか数字が分かれば示してほしい。《事業主代表》

⇒原因は分かりませんが、過去にジェネリック医薬品の使用率が前月よりも下がった月があります。その時は、持ち直して翌月以降は順調に使用率が伸びていきました。推移を見守る

必要はありますが、今回も同様の動きをするものと推察されます。また、仮に使用率が 10% 上がった場合、ごく粗い試算ではありますが、千葉支部でひと月当たり 1 億 2 千万円の軽減が見込め、年間 14 億円の軽減になります。

**◆薬局や医療機関等、ジェネリック医薬品提供側に対する取り組みが中心に思える。加入者向けの事業をもっと手広く行った方がよいのではないか。加入者に対して、ジェネリック医薬品の使用が何故必要かを分かってもらう必要があるのではないか。《被保険者代表》**

特 記 事 項
・ 第 92 回千葉支部評議会傍聴者 なし
・ 第 93 回千葉支部評議会開催予定 平成 29 年 10 月 27 日（金） 14 : 30～